

# 4月9日(日) 2023年度春季リーグ戦第2節2回戦

【試合結果】10回タイブレーク

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計
大公大	0	1	0	3	1	0	0	2	0	8	15
神戸大	1	0	0	0	4	2	0	0	0	2	9

大阪公立大学(3塁側)

対

神戸大学(1塁側)

【打者成績】

打順	守備	名前	学年	出身校	打数	安打数	打点	
1	中	米麦	4	高松商業	5	1	3	
2	右	北野	4	水口東	6	2	0	
	右	山中	3	明星	-	-	-	
3	二	大西優	4	豊田西	5	3	1	
4	左	眞銅	4	佐久長聖	5	0	1	
5	一	中西	4	川西緑台	3	1	2	
6	捕	高内	4	彦根東	5	4	0	
7	指	中村	3	西京	4	2	3	
8	三	大西健	2	長田	2	0	1	
	打	樋口	2	刈谷	1	1	0	
	三	楠橋	4	今治西	1	1	1	
9	遊	疋田	2	広島新庄	4	0	0	
投		中野	3	兵庫	-	-	-	
		青野	4	高松	-	-	-	
合計	三振	四死球	犠打・犠飛	併殺打	盗塁	打数	安打数	打点
	5	14(1)	3	1	1	41	15	12

【投手成績】

名前	回数	投球数	打者数	打数	被安打	奪三振	四死球	失点	自責点
中野	5	96	25	21	7	5	3	5	5
青野	5	69	21	20	4	3	1(1)	4	0
合計	10	165	46	41	11	8	4(1)	9	5

【打者成績】

打順	守備	名前	学年	出身校	打数	安打数	打点	
1	右	伊藤	2	長田	5	1	0	
2	二	増田	3	大阪国際大和田	4	2	0	
3	指	駒寿	4	鹿児島玉龍	5	1	1	
4	左	日下	3	畷傍	4	3	1	
5	遊	梶川	4	明和	3	0	0	
6	中	牧	4	白陵	4	1	3	
	中	前田	4	姫路東	1	0	0	
7	一	荻根澤	3	早稲田摂陵	5	0	0	
8	三	宮原	4	倉敷南	3	0	0	
	打	鶴田一	4	米子東	1	0	0	
	三	古川	3	市立西宮	1	0	0	
9	捕	喜田	3	長田	5	3	2	
投		林	4	加古川東	-	-	-	
		狩山	3	三国丘	-	-	-	
		山下	4	四日市	-	-	-	
		池田	3	天王寺	-	-	-	
合計	三振	四死球	犠打・犠飛	併殺打	盗塁	打数	安打数	打点
	8	4	1	0	1	41	11	7

【投手成績】

名前	回数	投球数	打者数	打数	被安打	奪三振	四死球	失点	自責点
林	7 2/3	155	39	32	12	4	6	7	7
狩山	1 2/3	55	12	5	2	1	5(1)	4	0
山下	1/3	15	3	2	1	0	1	3	2
池田	1/3	18	4	2	0	0	2	1	1
合計	10	243	58	41	15	5	14(1)	15	10

## 【戦評】

二つ目の勝ち点を挙げるため、チーム一丸となり必死に闘いました。

1回表、一死から北野が安打を打ち出塁するも、相手の好守に阻まれ先制点を挙げられません。

リーグ戦初の先発を任された中野は、先頭から三振を奪うも後続に連続二塁打を放たれ、1点を先制されます。しかしその後は自身の好守備もあり、最少失点で切り抜けます。

すぐにでも点を返したい大公大は2回表、先頭の中西が四球で出塁すると、さらに高内が二塁打を打ち一三塁のチャンスを作ります。ここで中村が期待に応える安打を打ち、1点を返します。

ここから中野は4回まで、安打を一つしか許さず無失点で抑えます。

同点のままではいられない打線は4回表、先頭から中西、高内が連続安打、中村が死球で無死満塁の大チャンスを作ると、大西健が犠飛、米麦が二塁打を打ち、計3点を追加します。

さらに5回表、先頭の大西優が二塁打を打ち、続く内野ゴロの間に三塁へ進みます。その後二死に追い込まれますが、ここでも中村の適時打により1点を追加します。

5回裏、リードを守り切りたいところですが、中野は先頭に安打を放たれると、犠打や四球、さらなる安打により一挙4点を奪われ、追いつかれてしまいます。

6・7回の攻撃では、再びリードを作ろうと奮起しますが、得点圏に走者を進められません。

中野に代わって6回からマウンドに上がった青野は、一死から続けて安打を放たれ一二塁のピンチを招きます。二死に追い込みますが、ここで味方の失策によりアウトを取りきれず、その間に2点を失い勝ち越されます。

8回表、何とか逆転したい大公大は、先頭で代打の樋口が安打で出塁し、チームを活気づけます。その後二死に追い込まれますが、北野が粘って四球を選ぶと、大西優が安打を打ち1点を返します。そこから暴投と四球で満塁とすると、中西の粘りの四球で押し出しとなり2点目を追加。同点に追いつきます。

9回表、意地でも勝ち越したいところですが、一二塁のチャンスを活かせず無得点。10回の攻撃ができるのを待ちます。

1点も許せない守備陣。青野は、7・8回を三者凡退に抑え、9回裏には二死から安打と盗塁でチャンスを作られますが、後続を落ち着いて打ち取り無失点。10回のタイブレークへと繋ぎます。

延長戦は連盟規定により無死一二塁から始まります。1点でも多く奪いたい打線は、先頭の大西優が安打を打ち満塁とすると、続く真銅の四球、中西の犠飛で1点ずつ追加すると、高内が今試合4本目の安打で再び満塁とし、中村の四球、楠橋の安打、米麦の四球で3点を追加します。さらに北野の大きなあたりが相手の失策を誘い、走者を一掃させ3点追加。この回計8点を奪い、後は守り切るのみとなります。

10回裏、青野は落ち着いて相手をスムーズに打ち取り二死とします。ここから二塁打を放たれ2点を返されますが、最後はピッチャーゴロで試合終了。15-9で勝利し、勝ち点を2といたしました。